

H27-⑥ 「事例調査、各都市プロフィールとHPデータの再整理」調査

調査項目	「事例調査、各都市プロフィールとHPデータの再整理」調査
調査年次	平成27年度（9次調査）
目的	今後の施策展開の参考にするため、公園緑地に関する個別課題について、各都市の現状や対応状況を調書、文献調査、ヒアリングを通じて把握・整理した。
概要	以下の5つのテーマについて事例調査を行った。 ①身近な公園における管理手法について ②法第5条設置管理許可制度等による身近な公園の設置及び管理の事例調査 ③市民や企業の公園維持管理への参画を促すインセンティブの調査・検討 ④地域の緑化リーダーとなる人材の育成について ⑤公園内にある建築物の検査済証の取得・保管状況及び増築等への対応
結果	①公園の規模や施設内容、周辺状況等に応じて、導入可能な新しい管理手法を想定し、あらかじめ原則的なルールを定めるとともに、それを市民や事業者にも周知することが必要であり、この内容を含んだ「公園マネジメント」のための計画、基準等が必要である。 ②都市公園法に基づく設置・管理許可制度を活用し、大規模な公園では売店や休憩所、駐車場等の整備や運営に民間活力を導入する事例が増えているが、身近な公園での活用はまだ限られている。 ③インセンティブとしているものは、「行政からの助成金や委託費の支払い」にあたるものも含まれていた。新しく積極的なインセンティブのあり方について各都市が模索している状況であった。 ④緑化リーダーの育成については多くの都市で行なわれており、その中でも平成10年代に制度がスタートしたところが多い。それから10～20年経って制度が定着する一方で、参加者の高齢化や活動の固定化・マンネリ化が生じている。 ⑤近年は建築確認・検査が厳格化しているが、平成11年（1999）以前の建物では検査済証の交付を受けていない建築物が半数以上を占めていた。一方で公共施設の有効活用の観点から既存建築ストックを活用する必要は増しており、公園施設に限らず検査済証のない建築物の取扱いについては、大きな問題となっている。
課題	
調査結果の反映等	
キーワード	管理許可、パークマネジメント、設置許可、利用調整、市民参加、
事例公園等	千葉市「豊砂公園」、大阪市「グリーンコーディネーター育成講習会」、名古屋市「緑の人材育成（森づくり講座）」